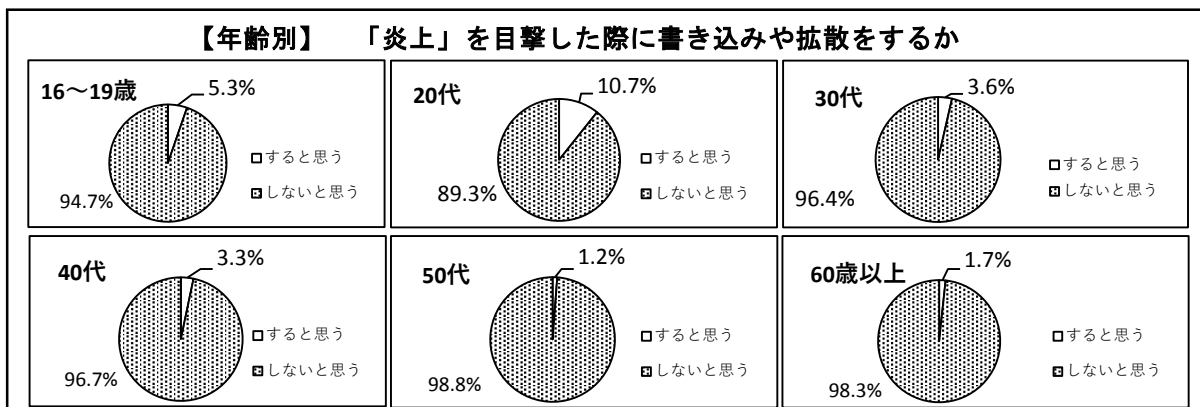
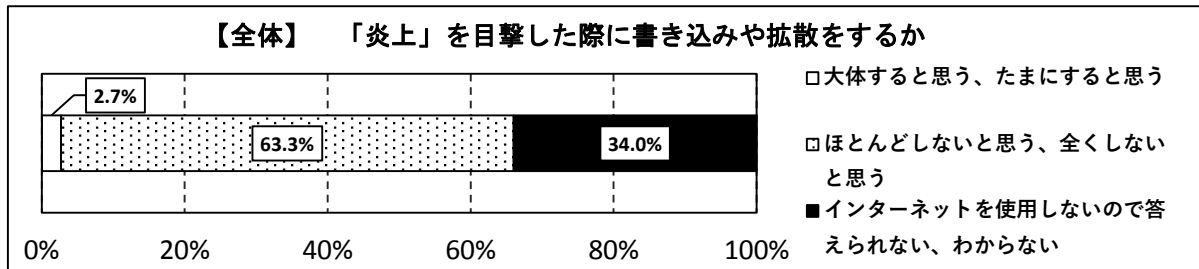


平成 30 年度 岡山県立玉野光南高等学校情報科特別入学者選抜
 選択実施する検査（小論文） その 1

1 近年インターネット上で「炎上」と呼ばれる事態が続発し、メディアで報道されています。「炎上」とは、書き込み欄に非難や攻撃的な書き込みが相次ぎ、收拾がつかなくなった状況をいいます。次のグラフは、いわゆる「炎上」を目撃した際に書き込みや拡散をするかという問いに対しての答えをまとめたものです。このグラフを見て、あとの問1と問2に答えなさい。



平成 28 年度 文化庁「国語に関する世論調査」から作成

問 1 全体のグラフと、年齢別のグラフからそれぞれどのようなことが読み取れますか。150字以内で述べなさい。ただし、次の(1)～(3)に注意すること。

- (1) 解答は、解答用紙に横書きで書くこと。
- (2) 解答は、最初のマスから書き始め、句読点も1字として数えること。
- (3) 段落を分けなさい。

問 2 なぜ「炎上」という事態が発生すると思うか、インターネットの特性をふまえてあなたの考えを150字以上200字以内で述べなさい。ただし、次の(1)～(3)に注意すること。

- (1) 解答は、解答用紙に横書きで書くこと。
- (2) 解答は、最初のマスから書き始め、句読点も1字として数えること。
- (3) 段落を分けなさい。

平成30年度 岡山県立玉野光南高等学校情報科特別入学者選抜
選択実施する検査（小論文） その2

2 次の新聞記事を読んで、あとの問1と問2に答えなさい。

「6センチ」はテニスボールの直径より小さい。位置情報の誤差がその程度まで縮むというから、大きな進歩である。日本版GPS（衛星利用測位システム）を目指す準天頂衛星「みちびき」4号機がおととい、打ち上げに成功した。GPSはカーナビやスマートフォンに使われ、米国の衛星電波を受信する。だが誤差は数メートルはあり、山や高いビルがあると精度が落ちる。みちびきはGPSを補い、既に打ち上げた3基との4基体制で日本の真上を24時間周回するという。中でも期待されるのが自動運転への活用だ。実用化の中核技術としては周囲を把握するセンサー機能とともに、正確な位置情報が欠かせない。6センチの誤差なら、人の感覚より優秀という声もあるだろう。熱い視線は高齢化が深刻な農業からも送られる。無人農機で耕運や田植えができれば、作業負担が軽減し、人手不足も解消する。夜間の作業も可能だ。熟練農家はその分、経験に基づく知恵や技が生かせる。導入は大規模経営などに限られようが、新規就農者の増加につながるとの期待もある。こうした無人運転の開発は、人手不足という同じ悩みを抱え、危険作業を伴う土木・建設でも急ピッチだそうだ。人間の持つ優れた技に、最先端技術を組み合わせる。働き方改革が叫ばれる時代に、そんな新しい「協業」なら歓迎である。

（山陽新聞 2017年10月12日付記事より）

問1 日本版GPS（衛星利用測位システム）「みちびき」を活用した自動運転により期待されることを、新聞記事の言葉を使って100字以内でまとめなさい。

問2 下線部「人間の持つ優れた技に、最先端技術を組み合わせる」とあるが、人間ならではの良さと科学技術を組み合わせる例として、どのようなことが考えられますか。新聞記事に書いてあること以外であなたのアイデアを理由とともに2つ、200字以上250字以内で述べなさい。

平成30年度 岡山県立玉野光南高等学校情報科特別入学者選抜
 選択実施する検査（小論文） 解答用紙（1）

受検番号	※（1）	※（2）	※計
(算用数字)			

1 問1

炎上とい	う現象に	関わって	いるのは、	インタ
ーネット	を利用し	ている人	のうちの	ほんの少
数であり、	世の中の	全体の意	見を反映	してい
るわけでは	ない。また	炎上に	関わって	いる割
合を年代別	に見ると、	若い年	齢層に多	く、な
かでも20代	が一番高	い。50代	以上の高	い年齢
層では炎上	に関わっ	ている人	はごく少	数だと
いえる。				

100字

※問1

問2

インタ	ーネット	の特性と	しては、	誰が情	報を
発信した	かわか	らない	こと、	ほか	の人
すま	すこと	ができる	こと、	情報	がす
って	しま	うこと	など	がある	。そ
任	な	発言	や	書き	込
に	なり	や	す	い。	さ
書	き	込	み	や	拡
人	の	人	間	が	複
書	き	込	み	を	す
炎	上	と	い	う	現

100字

200字

※問2

平成30年度 岡山県立玉野光南高等学校情報科特別入学者選抜
 選択実施する検査（小論文） 解答用紙（2）

受検番号
（算用数字）

※（2）

2 問1

農	業	に	お	い	て	、	作	業	負	担	の	軽	減	や	人	手	不	足	の
解	消	、	夜	間	の	作	業	が	可	能	に	な	る	と	と	も	に	、	新
規	就	農	者	の	増	加	も	期	待	で	き	る	。	ま	た	、	土	木	・
建	設	分	野	で	は	、	人	手	不	足	の	解	消	や	危	険	作	業	の
軽	減	に	お	い	て	効	果	が	期	待	で	き	る	。					

100字

※問1

問2

互	い	に	言	葉	が	通	じ	な	い	人	同	士	の	会	話	に	お	い	て
、	現	在	の	コ	ン	ピ	ユ	ー	タ	に	よ	る	翻	訳	で	は	細	か	な
ニ	ュ	ア	ン	ス	が	伝	わ	り	に	く	い	が	、	人	間	で	あ	れ	ば
相	手	の	状	況	や	感	情	を	理	解	で	き	る	の	で	、	そ	れ	ら
を	組	み	合	わ	せ	る	こ	と	で	相	手	の	気	持	ち	に	配	慮	し
た	豊	か	な	交	流	が	可	能	に	な	る	。	ほ	か	に	も	、	人	間
は	状	況	に	応	じ	た	細	や	か	な	対	応	が	で	き	る	の	で	、
例	え	ば	介	護	の	場	面	に	お	い	て	、	人	間	に	は	負	担	が
大	き	く	感	じ	ら	れ	る	力	の	い	る	仕	事	や	長	時	間	の	仕
事	な	ど	を	ロ	ボ	ツ	ト	に	さ	せ	な	が	ら	、	人	間	が	優	し
い	言	葉	が	け	や	気	配	り	を	す	る	こ	と	で	、	介	護	が	必
要	な	人	に	安	心	安	全	な	サ	ー	ビ	ス	を	提	供	で	き	る	よ
う	に	な	る	と	思	う	。												

100字

200字

250字

※問2
